

## 第14回日本Tweed矯正歯科研究会大会プログラム

- 開催日 : 2021年11月23日(火 勤労感謝の日) 10:00~
- 配信方法 : Zoom (URLは後日申し込み者へご連絡します)
- 参加費 : 無料

※会場とWeb配信のハイブリッド開催を予定しておりましたが、完全Web配信のみとなりました

11月9日よりクロンツ先生講演やプレッソン紹介、口演発表のビデオは先行公開し、当日は会員総会および総合討論のみ配信となります。

大会テーマ : ツイードはなぜProfileの改善を目指すのか  
—Face is first の背後にあるもの—

Face is first、すなわち良好な側貌(profile)の獲得はツイードフィロソフィーの最も重要な治療目標と言えますが、良好なprofileの定義には主観的要素が入ることもあり、曖昧になりがちです。本大会では、良好なprofileに焦点を当て、会員の先生方がそれをどのように捉え、どのように達成しているか、また、達成できなかった症例とできた症例を通してその原因と対処法を検討し議論を深めたいと思います。

また、ツイードフィロソフィーはprofileの改善が目的であるという一義的解釈をお持ちの方もおりますが、顎及び歯列弓関係、切歯の位置、歯列弓形態等を改善することで、結果的に良好なprofileが獲得されます。すなわち、profileの改善は獲得された咬合の長期安定や健全な口腔機能の維持に密接に関連していると考えられます。本大会では、硬、軟組織の形態のみならず機能、咬合の長期安定などを含めたFace is firstの真髄に迫りたいと思います。

事前にご覧下さい。当日は配信はありません。

会長挨拶 清水典佳

講演 Dr.Herbert Klontz Tweed法におけるFace (日本語訳つき)

プレッソン  
コース紹介

中久木正明 プレッソンコースの概要とアメリカツイードスタディーコースについて  
清水典佳 Pre-Tucson CourseにおけるTweed治療法の概要  
飯島重樹 Courseで学ぶTweed法の治療例

ビデオ口演

テーマ : ツイードはなぜProfileの改善を目指すのか  
—Face is first の背後にあるもの—

馬谷原琴枝 レビュー 側貌はどう変わるか  
藤崎臣弘 プロファイルの評価法について  
野村 聡 良好なプロファイルを達成しきれなかったケースを振り返って  
野間秀郎 良好なプロファイルを達成しきれなかったケース 一下顎の開大を伴う骨格性Ⅱ級症例—  
飯島重樹 良好なプロファイルを達成しきれなかったケース—Mandibular response—  
松原 進 口唇閉鎖とプロファイルの関係について  
高橋滋樹 側貌の改善と呼吸、舌との関連  
山村しげみ 側貌の改善と長期安定性について

会員症例発表 内田喜昭 「Angle Ⅱ級上下顎前突症例 —Tweed法を実践して—」

10:00 会員総会

10:15 総合討論  
(ライブ) 発表者 : 馬谷原琴枝・藤崎臣弘・野村 聡・野間秀郎・飯島重樹・高橋滋樹・松原 進・山村しげみ・内田喜昭  
モデレーター : 清水典佳

10:45 閉会

※ 演題内容等は多少変更することがございますので、ご了承ください。

当日のzoom配信等で不備があるかもしれませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。